

2020年9月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 9月えんだより

9月の聖句 『わたしはあなたがたを友と呼ぶ』

<ヨハネによる福音書第15章15節>

秋とはいえ、家や園から外に出ることをためらう程の暑さが続きます。今年は、感染症や熱中症に気を配りながらの生活で、ご家庭でも特別な夏を過ごされたのではないかと思います。園でも様々な活動の変更が余儀なくされていますが、この機会も学びの時として、子ども達を見つめ、対話をしながら進めていきたいと思えます。

さて、園の6年間の生活と学びにおいて、子ども達は泣いて、笑って感情を表出する時期から言葉を介して意思や気持ちを表現し、理解に努め、他者の気持ちを推測することを覚えるまで大きく変化していきます。無論全てが何事もなく進むのではなく、衝突や失敗、成功体験を繰り返しながら、正しいことや間違いを自らが学んでいきます。子ども達は、その行いが素直な気持ちから成されており、人を赦し合える素晴らしい力を持っています。相手の思いや考えを汲み取り、自発的に相手の願っていることを行動にうつすことも目にします。それは、何かを求めて見返りを期待するのではない愛と信頼の行いと感じます。

人と人は、今でこそ分断されるような時であり、SNSを使ったつながりも友というのかもしれませんが、自分により刺激を与えてくれる人、自分を鍛錬してくれる人、真の友は、一緒に困難に立ち向かい、互いに成長し合っていく者こそ大切な存在であると思えます。振り返れば、自分にとって好ましい人や気を使わない人だけではなく、波長が合わない人も沢山存在しているのであり、実はその交わりの中でこそ、大いに学んだことがあるのではないのでしょうか。人は、全て神様に命を与えられ、愛されている存在であります。同じクラスになった、同じ時に入園した、又入学した等、人の出会いは偶然や自らの決断なのでしょうが、その背後には人知を超えた不思議な縁や愛の選択があり、それを恵みと受け止めるか罰と受け取るかで、学びを大きく変わるのではないかと思うのです。

私たちが神様を選んだのではなくて、神様が私たちを選んで友と呼んで下さった。そこには、私達自身に起こりうる一つ一つの出来事を、どのように受け止めて、考えるか？歩むか？の問いを与えられているとも言えます。色々な迷いが生じた時に、互いを愛し合うことを勧め、幼子が赦し合える姿を覚えて応答していくことができると願います。

年主題聖句 「喜びと平和とであなたがたを満たす」

<ローマの信徒への手紙 15章13節>

8月	乳児(0,1,2歳児)	幼児(3,4,5歳児)
月主題	あそぼう	いっしょに
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 生活の場を広げ、いろいろな遊びを試してみる。 * 保育者や友だちと共に体を動かす喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 平和を考え、願い、共に祈る。 * 友だちと共にいることを喜び、体を十分動かして遊ぶことを喜ぶ。 * 新しい発想や意欲をもって、試してみる。
讃美歌	<p style="text-align: center;">どんどんどんどこ こども改 106</p>	